

# 桐生西ロータリークラブ週報

2012-13年度 RIテーマ

田中作次 2012-13年度 国際ロータリー会長 **Peace through Service**



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 東郷康史 広報活動委員長 奥村 勉 広報活動委員 片貝良一・岡田善孝・櫻井和彦  
 幹事 坪井良行 クラブ会報編集担当 鳥嶋隆一 根本正則 (責任編集) 田中作次

No. 1865

2012年9月14日発行

## 第1982例会 (2012・9・7) 報告

1. 点 鐘
2. 黙 禱
3. 国歌斉唱
4. 四つのテストソング
5. 来訪者紹介
6. 会長報告
7. 幹事報告

8. 食 事
9. 委員会報告
10. 卓 話 地区インターアクト委員長 薊勝君
11. SAAプレゼント抽選
12. 点 鐘
13. ロータリーソング

例会終了後定例理事会開催

### ◆故 片貝良一会員に哀悼の意を表し黙禱

#### ◆ピジター

地区インターアクト委員長 桐生南RC 薊 勝 君  
 一年交換学生 樹徳高等学校2年生 飯野真帆さん

#### ◆会長報告 東郷会長

1. 本日の例会が片貝良一パスト会長の黙禱で始まり  
 ましたが、クラブにとりまして、貴重な存在をなく  
 し、大変残念です。安らかなご冥福を心よりお祈り  
 申し上げます。

また、昨日のお通夜、本日の告別式にお手伝い  
 いただきました会員皆様、そして御会葬いただきまし  
 た会員諸兄にお礼を申し上げます。

2. 9月4日から昨日まで、3日間に亘り、大間々高校  
 模擬面接が行われました。立ち会われた横塚インタ  
 ーアクト担当委員をはじめ、面接官になられた9名  
 の会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

#### ◆幹事報告 坪井幹事

◇本日例会終了後1Fにて理事会を行います。  
 ◇本日配布致しましたクラブ会報の写真がカメラの不  
 具合でぶれておりますので、お詫び致します。

◇ガバナー月信9月号が配信されました。(各テーブルに配布)  
 ◇安藤ガバナー年度の地区資金会計報告書が届いています。

◇昨晚の桐生タイムス紙に大間々高校模擬面接の記事  
 が掲載されました。(各テーブルに配布)

◇わたらせ養護園より『とんがりやね第153号』が届い  
 っております。

◇例会変更のお知らせ

富岡かぶらRC 9/25、10/16

◇クラブ会報が到着しています

桐生赤城RC 8/25、8/28

#### ◆食事メニュー 1275キロカロリー

照り焼きチキン、サーモンフライ、マカロニサラダ、  
 小海老と玉子のスープ、香の物、白飯

#### ◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

石川出席担当

総数47名(免除者8名の内3名出席の為5名を除く)  
 出席率対象者42名、出席率対象者出席人数34名  
 欠席者8名(内前メイク4名) 出席率90.48%  
 前々例会修正出席率88.64% (最終欠席者5名)

#### □拠金委員会

##### ◇ニコニコBOX

東郷(学)ニコニコBOX担当

地区インターアクト委員長の薊勝様、卓話ありがとう  
 ございます

東郷(庸)君、福島君、前原君、  
 向田君、下井田君、天沼君、近藤君

薊地区インターアクト委員長と交換学生の飯野さんをお  
 迎えして 江原君、坪井君

薊さん昨年は大変お世話になりました。また今日はご  
 苦労様です 家住君

片貝良一様のご冥福を心よりお祈り申し上げます

鳥嶋君、栗原君、野田君

江原拠金委員

##### ◇ロータリー財団

【年次寄付・恒久寄付】

薊勝様、卓話ありがとうございます

東郷(庸)君、福島君、向田君、下井田君、天沼君

薊様と飯野さんをお迎えして 坪井君

片貝先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます

鳥嶋君

大間々高校模擬面接指導ご苦労様でした 栗原君

【ポリオプラス寄付】

向田君、下山君、矢野君

##### ◇米山BOX

松戸拠金委員

薊勝様、卓話ありがとうございます

福島君、向田君、栗原君、天沼君、前原君

薊様と飯野さんをお迎えして 東郷(庸)君、坪井君

片貝先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます

鳥嶋君

散る桜、残る桜も……。片貝先生、黄泉の国で釣りを楽し  
 んでください 江原君

### 《次例会予告》

9月21日(金) 外部卓話

桐生新町まちなみ委員会 委員長 森 壽作様

卓 話



地区インターアクト委員会

委員長  
**薊 勝 君**  
 (桐生南RC)

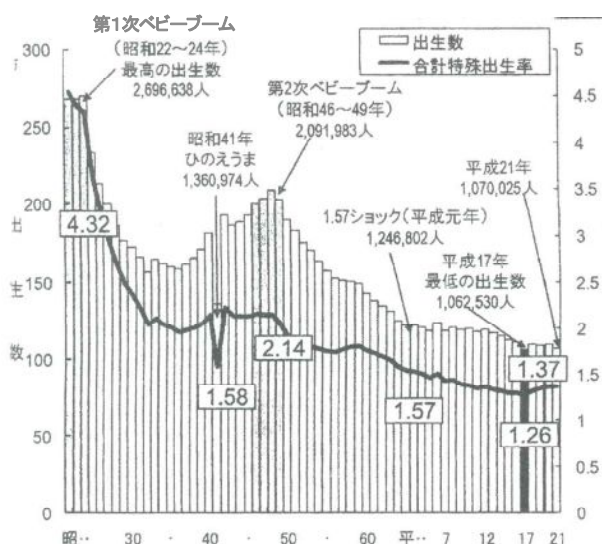
「新世代の為に  
 月間に因んで」

桐生西ロータリークラブの皆様には、桐生5RCとして、また個人としても色々とお世話になっております。錚々たる方々がいる本クラブで、皆様が普段活躍していることをお話しするのは、誠に場違いな感じが致しますが、お役目でもありますので、経験した分野だけお話し致します。

新世代のための月間『New Generations Month』と英語で表記致しましたが、誠にぴんとこない日本語です。新しい世代という意味でしょうか。余談になりますが、このところ「手続要覧」を読む機会が多くなってきましたが、大変難渋しています。読んで意味がわからないのです。早く専門家の手に入った文章が欲しいと思っています。このところというならば「次世代」ということになりますか？

この月間は、年齢30歳までの若い人の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点をあてるために、「9月は新世代の月間」に指定されています。ロータリークラブは、「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を、「新世代のための月間」中のクラブ会報や広報活動に使うよう奨励されています。

資料の中にグラフを用意しました。人口の面から、日本がどういうことになっていて、新世代に該当する人々が現在どうで、今後はどうなるかということです。(下のグラフ参照)



第1次ベビーブーム(昭和22~24)が最高の出生率を示しています。そしてその二十数年後、第2次ベビーブームがきています。その後、平成7年にエンゼルプランを、平成12年に新エンゼルプランを、政府が出生率を上げるために作りましたが、却って出生率の低下に繋がっています。このまま人口が推移して行きますと、30年後、50年後はどうなるか？想像が出来ないような事態に到達すると予想されます。

このような状況を踏まえて、私達がやるべき事は、

1. インターアクト
2. ローターアクト
3. ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)
4. ロータリー青少年交換

以上の様に、新世代のためのR I 常設プログラムが4つあります。

『ロータリー百科事典』から、これらのことをわかりやすく解説した部分を資料として配付してありますので、参考にしてください。

また、後々、インターアクトがこういうふうに進んで行ったら良いのではないかを踏まえて、課題を提示してみました。

1. インターアクトの高等学校数を増やす。私立・実業高校を勧誘すべき

例えば

2. インターアクト部員の人数を増やす。男子の数が不足している。
3. 指導教員とロータリアンとの関わりを多くする。
4. 教員を会員として迎える。
5. 各校クラブに対して教育的配慮を行う。
6. 年度を学校年度に合わせる
7. 形骸化に落ちる危険を排除する。

各クラブ・地区合同会議・年次大会

それでは、一昨年、桐生南ロータリークラブから、樹徳高等学校5年生(中高一貫校)の飯野真帆さんを送り出していますので、その体験談を発表してもらいたいと思います。飯野さんは、今年の7月に1年交換学生としてアメリカから帰国したばかりです。

代わりに桐生南RCでは、アメリカの男子高校生を1年間受け入れました。受け入れる側の心構えや言葉の問題、受け入れ高校のことなど、色々な課題もあります。今後、1クラブでは受け入れが困難になる可能性もありますので、桐生5RCなどに、直接お願いをしました。

ロータリーの長期青少年留学制度を良く理解していただけるよう、飯野さんご本人から臨場感ある体験談をお聞き下さい。



1年交換学生

飯野真帆さん  
 (樹徳高等学校)

「My American Life」



まず最初に、何故、私が1年交換学生に参加したのかをお話します。

私は樹徳の中高一貫に通っています。3年生の修学旅行が1週間のイギリスのホームステイでした。それが大変楽しくて、そして1週間という期間がとても短くて残念に思っていました。私の先輩が、ロータリーの1年交換学生でしたので、私も参加したいと思い応募しました。選考試験は、筆記試験と会話と面接がありました。面接は、親と一緒に面接と私ひとりの面接がありました。筆記試験は基礎的な問題が多く、難しい印象はなく、会話では趣味や応募の経緯など話しました。それで、無事合格して、アメリカのネブラスカ州に1年間留学させて頂きました。

それでは、写真を見ていただきながら、ご紹介します。ネブラスカ州は米国の中部に位置し、冬はとても寒

く、夏は暑かったです。ネブラスカのカラーは赤で、色々なところに赤が使われています。また、山が無く、ずっと平地が続いています。ネブラスカの州都はリンカーンで最大の都市オマハには有名な大きな動物園があります。また、この州は大陸横断が始まった有名な土地でもあります。

次に私のホストファミリーについてお話します。私の場合、ずっと一年間、同じホストファミリーにお世話になっていました。ホストファミリーの家族構成は、両親と男2女2の4人兄妹で、17歳のホストブラザーは私と同じ交換留学生として名古屋に行っていました。彼も日本語がペラペラになって帰って来ました。そして馬が3頭、犬が2匹、猫が4匹いました。廻りには殆ど家が無く、偶に銃声が聞こえました。休日はよく乗馬を楽しみました。でもネブラスカでも馬を飼っている家は珍しいようです。私は茶道を習っているのでも、抹茶を点てたりしました。



では、私が一年間通ったエレクホーンという学校を紹介します。アメリカは16歳から運転免許が取れるので殆どの生徒は自分で車を運転して通学していました。私のお世話になった家はとても田舎に在り、スクールバスも来ない所だったので、毎日ホストマザーが20分位かけて学校まで送迎して下さいました。この学校には日本語クラスがあり、日本人の先生が居て日本語を教えていました。

私も半ば強制的にこのクラスを選択しました。そして日本語クラブというものもあって、日本に興味がある生徒が、日本の映画を見たり、折り紙を折ったり、ゲームをしていました。上の写真は小学校に行き折紙を教えているところです。私は陸上部に入部しました。部活に入ると友達が増えて良いと思いました。学校での大きなイベントとしていわゆるダンスパーティーがあります。みんなでドレスを着てお化粧をしてダンスを楽しみました。



次にむこうでのロータリーについて紹介したいと思います。私がお世話になったRCでは、私の他にメキシコやスペインから来た留学生がいました。RCでは、コンサートに連れて行って頂いたり、地区では2~3ヶ月に1回位の割合で、キャンプやお泊まり会など色々なイベントがありました。そこには色々な国から来た留学生がいたので、沢山の国の留学生と英語を通して会話が出来る、とても良かったと思います。



最後に私は色々な州を廻る28日間のバス旅行に参加しました。これには50名位のロータリーの留学生が参加していました。

今回の交換を通して感じた事は、改めて日本は良い国だと思ひ、好きになりました。そして出会った友達と今も交流が続いていますし、このプログラムに参加して世界観が変わり、色々な国の人に出会った事で視野がとても広がりました。良い経験が出来て感謝しています。

SAAから  
本日のプレゼント

中野幸三郎君



理事会報告 9月7日

1. 新会員 七五三木正君の会務分担をクラブ運営委員会とする。また定款第12条第2節(b)により入会金は頂かないこととする。
2. 地区大会に1名追加登録を行う。
3. 田崎武夫君長期欠席の為、今年度のパスト会長会の担当を前年度の中野幸三郎パスト会長にお願いする。
4. 納涼家族会の決算承認。
5. 10~12月の例会変更承認。
6. 森下ガバナー補佐公式訪問は例会後のクラブ協議会が行わない。
7. 家族会秋の食事は10月18日(木)正午~割烹『豊田』で会費2千円で行う。
8. 米山梅吉記念館100円募金は本部費から拠出する。
9. 会員増強進捗状況表の確認。

黄其光氏が2014-15年度RI会長に



台湾の台北RC会員の黄其光(ゲイリー C. K. ホアン)氏が、指名委員会により2014-15年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長マニエに就任します。

同氏は、ロータリーへのビジョンとして、会員を130万人に増強することとし、「会員数の増加を図るためには、中国、モンゴル、ベトナムなど、発展の可能性が見られる場所ならどこへでも、国境を越えて進出して行かなければなりません。また、女性や若い世代の会員を増やすことにも焦点を当てていき、退会した会員を再びロータリー・ファミリーの一員として迎え入れ、再入会を推進することも考えています」と話します。

ホアン氏は、Taiwan Sogo Shinkong Security(株)、Shin Kong Life Real Estate(株)、P.S. Insurance Agency(株)の会長、Federal Corporationの理事、台北ライフライン協会の専務理事を歴任してきました。また、マラーヤン海外保険(株)の元社長、台湾産業・商業開発協議会の創設事務総長でもあります。

1976年以後のロータリアンである同氏は、RI副会長、理事、ロータリー財団管理委員、地区ガバナー、国際協議会研修リーダー、地域セッションリーダー、タスクフォース委員およびコーディネーター、委員会委員および委員長など、ロータリーでさまざまな役職を歴任しています。

2000年の香港、2011年のクアラルンプール、2002年のマニラ、2003年のシンガポールでのロータリー研究会招集者でもある同氏は、2002年台北会長主催会議の委員長も務めました。また、現在は台湾パスト・ガバナー協議会の委員長を務めています。

第3450地区のガバナーとして、1986-87年度に19の新クラブ(香港、マカオ、台湾を含む)を結成した同氏は、中国の内務省より、その卓越した地域奉仕活動が認められ、全国市民奉仕賞を授与されています。ロータリーでは、RI超我の奉仕賞ならびにロータリー財団功労表彰状を受賞しています。ホアン氏とコリーナ夫人には、3人のお子さんがいます。

ロータリー・ニュース: 2012年8月10日より

## 大間々高校模擬面接に協力



9月4～6日(火～木)の3日間、午前10時から、大間々高校の就職希望生徒さん対象の模擬面接が行われ、横塚直人インターアクト担当委員も立会い、当クラブ会員9名(奥村勉君、七五三木正君、家住慧路君、根本正則君、霜村年勇君、小林聡君、新木明夫君、新井淳一君、下井田秀一君)が面接官となって、就職試験の予行練習を行いました。

この事業は毎年行われ、今年で10年目になります。

今回は約50名の生徒さん対象に、志望の動機や学校生活について等の質問を行い、身だしなみや姿勢、受け答えのアドバイスをを行いました。

どの生徒さんも本番さながらに行われる雰囲気、緊張の面持ちで臨んでおりました。

この面接については、6日の桐生タイム紙に大きく取り上げられました。

## 片貝良一様の御逝去を悼む

2012年(平成24年)9月3日永眠される(享年70才)

弔辞 クラブ会長として 東郷庸史

桐生西ロータリークラブ会員を代表して、今は亡き片貝良一殿の御霊前に、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

貴方様が肺がんを発病されてから、凡そ一年半が過ぎたように思います。その間、体調をみては例会に出席されておりましたが、新しいロータリー年度がスタートした7月からは、一度も、お顔をみることはありませんでした。でも、自宅で療養されていると耳にしましたので、きっと近いうちに、また例会に出席して下さるものと、楽しみにしておりました。

そんな矢先の突然の訃報に接し、クラブの会員は、一様に驚き、耐え難い悲しみに浸りました。

片貝良一様は、平成10年に桐生西ロータリークラブに入会され、ロータリー歴14年目となり、そのご人格、そして豊かなご経歴や知識を見込まれて、入会后直ぐに、数々の要職に抜擢され、2010～11年度にはクラブ会長に就任されました。大学教授というご職業柄もあって、冷静沈着な物腰、そして客観的かつ正確に物事を分析して発言されるひと言ひと言に、どんなベテラン会員でも感心し、納得せざるを得ませんでした。

そんな優秀な人材を失ったことは、クラブにとりまして、誠に惜しみて余りある痛恨の極みであります。

思えば、貴方様は、現役の会長としてご活躍されていた2011年3月11日金曜日の例会を終了してから、辛い闘病生活に入られました。その例会の約1時間後に、あの東日本大震災が発生したのです。あの震災後の混乱の中、病と闘った貴方様も、支えるご家族も、さぞお辛かったことと存じます。そして、奇しくも副会長であった私が、会長の代理を務めさせていただくことになった



のです。そして、私の会長年度に、貴方様が黄泉の国へ旅立たれ、私が今こうして惜別の辞を捧げることになるとは、誰が想像できたでしょうか。そして、任期3ヶ月を残して会長職を全うすることが叶わなかった貴方様のご心情を思うと、さぞ無念であったことと思います。

しかし、貴方様は病としっかり向き合い、ご自分の様態を冷静に分析して対峙され、そのお姿は誠に尊崇に値いました。

今、御遺影を前にして、在りし日のお姿が偲ばれてなりません。みるからに大学教授らしい御風貌で、知的で気品がありダンディでした。その反面、お酒が入ると陽気になり、会話が弾み、とても親しみ易いお人柄になりました。家族会行事には、いつも奥様とご子息の悠君の三人で参加され、仲睦まじい理想の家族像を拝見させて頂きました。親子揃ってカラオケがお得意でしたね。目の中に入れても痛くないほど愛された悠君のご成長を、まだまだ見届けたかったことと思います。また、責任ある教授職を無事ご退官され、これからご夫妻で、のんびりと老後の生活を楽しまれるご予定だったことでしょう。そんな貴方様やご遺族様の無念を思うと、慰めの言葉もございません。

本日は、はからずも金曜日で私達の例会の日です。貴方様のお姿は見えなくても、貴方への思いを胸に、例会を行います。そして、貴方様が私達に示された、安易に妥協せず、真実を追究して、ロータリーの奉仕の理想を邁進していくことをお誓いいたします。

片貝良一様、長い間お疲れ様でした。そしてお世話になりました。お別れに際し、深く哀悼の意を表し、御霊の安からんことをお祈りして、弔辞といたします。合掌